

平成17年度補正予算

総額で2億1909万7千円の減額

3月定例会における補正予算は、執行残、事業決定、事業実績見込みなどによる調整が主なものです。一覧表で予算額のみお知らせいたします。

会計名	補正額	総額
一般会計補正予算（7号）	△170,175千円	6,048,642千円
国民健康保険事業特別会計補正予算（2号）	41,502千円	1,860,660千円
老人保健特別会計補正予算（2号）	△2,355千円	2,080,596千円
介護保険事業特別会計補正予算（3号）	△85,221千円	1,362,685千円
水道事業会計補正予算（3号）	△189千円	231,951千円
公共下水道事業特別会計補正予算（4号）	△2,659千円	374,216千円
合計	△219,097千円	11,958,750千円

●2路線を新たに町道認定

志布志市、鹿屋市を結ぶ幹線道路として整備された大隅中央区域農業用道路（愛称・大隅グリーンロード）が、町道に認定されました。

路線名 持留中沖線
町道番号 498号
延長 7462・66m

国道448号線のバイパス工事に伴い、旧国道の部分を町道に格下げするものです。

路線名 三本松文化通線
町道番号 499号
延長 1254・0m

陳情

- 次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度堅持に関する陳情書

採 択

- 障害者自立支援法（乳幼児期の療育）についての陳情書

継続審査

意見書

- 次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書

- 道路整備の促進及び道路特定財源の確保等に関する意見書

意見書の提出先

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣、行政改革担当大臣、衆議院議長、参議院議長



新たに町道となった持留中沖線(旧名称：大隅グリーンロード)

大崎町の合併問題調査

特別委員会を設置

大崎町は、平成16年5月の「大崎町の合併についての意思を問う住民投票」で投票の結果に基づき単独を選択し、現在にいたっています。

国・県の厳しい財政状況や三位一体改革の影響を受け、地方交付税や補助金が削減される中、役場の組織機構の見直しや行財政改革を積極的に進めているところですが、本町の厳しい財政状況や少子高齢化などの難問が山積しており、合併した近隣の市・町の状況なども把握しながら、大崎町の合併問題及び広域行政に関する調査を行うため、「大崎町の合併問題調査特別委員会」を設置しました。特別委員会は、議長を除く委員19人で構成され、長重副議長が委員長を務めます。

東町長は、市町村合併については推進することが重要であり、町民、議会との合意形成をはかりながら新合併特例法の期限内での合併を目指すとしています。議会としては、今後この特別委員会の中で合併問題についてのいろいろな審議がなされることとなります。